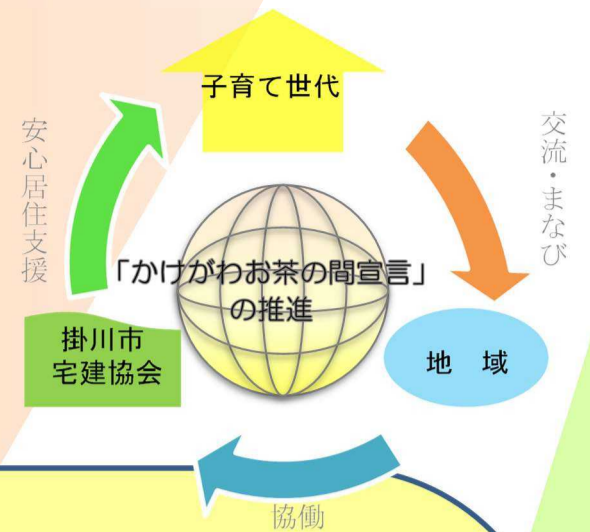


# 掛川市子育て世代向け

## 認定住宅供給事業



### 補助

## 子育て世代向け認定住宅補助制度

子育て世代向け住宅に認定された一戸建て住宅を新築・購入・改築し、かつ下記の条件を満たす方へ**最大35万円**を補助します。

【補助額】 基本額 10万円（ただし、対象工事費の1/2以下）

以下の要件を満たす場合は、それぞれ補助額の上乗せがあります。

- 1 居住誘導区域内<sup>※1</sup>に居住する場合 15万円
- 2 市外から移住する若しくは、移住する者が同居する場合 10万円

※1 「居住誘導区域」をお調べになる場合は、ホームページ若しくは担当までお問合せください。

【補助要件】 以下の条件を全て満たす方

- 1 認定住宅<sup>※2</sup>を所有する者であること
- 2 小学生以下の子どもを持つ親であること
- 3 同居する家族全員に市税等の未納がないこと

※2 「認定住宅」とは、下記★子育て世代向け住宅認定の基準に適合(認定証を取得)した住宅をいい、認定申請は、住宅の新築等の工事完了から3ヶ月以内に行ってください。なお、「住宅の新築等」とは住宅（建築設備を含む）の新築、増築、修繕、模様替え又は購入をいう。

【申請方法】 下記★認定証の交付日から3か月以内に補助金交付申請書を提出してください。申請書は認定証の交付を受けた方へ直接お渡しします。

### 認定

## ★子育て世代向け住宅認定制度

○認定対象 新築・既存は問いません。既存住宅については、昭和56年6月1日以降に建築または耐震補強済のもの。

○認定基準 裏面をご覧ください。基準に適合した場合は「認定証」を交付します。

担当窓口 都市政策課 住まい・空き家対策係 TEL：0537-21-1152

<https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp/gyosei/docs/8492.html>



●掛川市子育て世代向け住宅認定基準（一戸建て住宅）●

区分	番号	内容・仕様等	補足説明	項目
子育てする上での安全・安心	1	キッチンからリビング・ダイニングが見わたせる	キッチンが対面形式またはアイランド形式となっている。	キッチン
	2	キッチンスペースの奥ではなく手前（リビング）側に冷蔵庫を配置している	調理スペースを通らずに子どもが冷蔵庫から物を出し入れできる。	
	3	階段が安全（滑らない工夫・手すり）である	階段は勾配が22/21以下で、けあげの寸法の2倍と踏面の寸法の和が550mm以上650mm以下であり、かつ踏面の寸法が195mm以上であること。また蹴込みは30mm以下であること。手すりの設置及び路面先端(段鼻)の滑り止め措置がされている。階段に幼児が入ってこられないようスライド式のゲートを取り付けることができる。平屋建ての場合は基準項目から除く。	階段
	4	造り付け家具や出隅の角が面取り加工してある	壁の出隅は高さ1.2m以下で面取り加工または保護材（クッション）をつけている。家具の角にコーナーカバー等を付けている。	全体
	5	コンセントに感電防止策がされている	リビングダイニング、子ども室など子どもが主に使用する部屋に、コンセントカバーやキャップをつけている。	
	6	段差を少なくする工夫がある	畳間がバリアフリー化されているなど。	
	7	室内ドアや引き戸は指・足を挟まないように安全対策がされている	引き戸の引き残し、ストッパー、オートクローザー、吊り元隙間カバー等の対策がされている。（和室襖・障子、押し入れ、物置等の戸は除く）	
	8	家具に転倒防止措置が行われている	高さ1.2m以上の家具が対象。クローゼット内のタンス等の固定は任意とする。	
	9	バルコニーまたは出窓は転落しないような工夫がされている	高さ1.1m以上の手すり等が設置され、手すりは足がかからない構造となっている。平屋建ての場合は基準項目から除く。	バルコニー
	10	キッチンに幼児が入ってこないようスライド式のゲートを取り付けることができる	キッチンと壁の間にスライド式のゲートが取り付けられることのできる間取りとなっている。	キッチン
	11	キッチン吊戸棚に地震時の飛び出しを防ぐロック機能（耐震ラッチ）がある	引き戸、電動式の場合は適用とする。吊戸棚（食器棚高さ1.8m以上の部分を含む）がない場合は基準項目から除く。	
	12	お風呂の床が滑りにくい素材になっている	滑りにくい凹凸加工がされていたり、滑り止めマットが設置されている。	浴室
家族にとってストレスをためない空間	13	トイレは子どもと一緒に入れる広さが確保されている	1箇所以上、概ね1.3㎡以上のスペースが確保されている。タンクレス便器を設置した場合は概ね1.1㎡以上とする。	トイレ
	14	リビング付近に収納スペースがある（子どものおもちゃ等の収納）	概ね1.2㎡のスペースが確保されている。（例：0.6㎡×2m=1.2㎡）	リビング
	15	玄関近くにベビーカーを置けるスペースがある	概ね1.0㎡のスペースが確保されている。	玄関
	16	泥のついたもの（キックボードやサッカーボール等）の収納の工夫がある	玄関の土間部分の収納スペースや外部物置が確保されている。	
	17	玄関に下駄箱またはシューズクロークが設置されている	下駄箱は後から購入した家具でもよい。	
	18	駐車場は2台分以上あり車止めの設置など安全にも配慮されている	庭や玄関までのアプローチなどが駐車場と分離されている場合は、車止めの設置は任意とする。	駐車場
	19	家族全員で集まることのできる主要な居室がある	リビングなどの主たる居室がある間取りとなっている。	全体
	20	子ども部屋は床・壁等が汚れの落としやすい素材になっている	床フローリング、壁ビニルクロスなど。無垢材などの自然素材のものは使用可能とする。	
	21	雨の日に洗濯物が干せる設備やスペースがある	浴室暖房乾燥機や室内吊り下げ式物干が確保されているなど。	
	22	水周りの素材が掃除しやすい素材である	トイレや洗面所の壁や床が掃除しやすい素材である。	水周り
くりに空の間に健康づくり	23	リビングは十分な採光がある	有効採光面積は居室の床面積の1/7以上を確保されている。	リビング
	24	健康または環境に配慮されている建材が採用されている	ホルムアルデヒドに関して規制対象外（F4☆）の建築材料が使用されている。	全体
ながら親子が一緒に過ごす空間	25	キッチンで子どもに手伝いをさせることができる広さ・工夫がある	キッチンの間口は概ね2.4m確保されている。（アイランドキッチンは概ね2㎡）	キッチン
	26	家族全員が一度に座れるテーブルを置く場所がある	リビング・ダイニングの広さは概ね20㎡確保されている。	リビング
	27	子どもがリビング・ダイニングで勉強等をして過ごせる広さがある	（家族1人当たりの面積が4.8㎡以上確保されていることが理想）	
	28	常に家族の気配が感じられる間取りになっている	リビング・ダイニング・キッチン内は全て目線がつながる間取りとなっている。リビングイン階段又はリビングを通らないと子ども部屋に行けない間取りとなっているなど。	全体
29	子ども専用の収納スペースがある	子ども専用の部屋を設けない場合は、リビングなど他の部屋に子ども専用の収納スペースが確保されている。		
工夫のたにの子変応成ど化じ長も	30	子どもの絵や写真等を飾れる場所や設備がある	ピクチャーレール・コルクボード・伝言ボードなどが設置されている。	
	31	将来的にスライドドア等で間取り変更が可能である	子ども室を将来分けることが可能な間取りとなっているなど。	将来の子ども部屋
のいい子育て環境	32	子どもの増えてくる荷物の収納場所がある	子ども用の収納スペースは余裕をもった広さが確保されている。	全体
	33	水遊びができる場所がある	屋外水栓があり、外部で水遊びができるスペースがある。	環境
	34	アプローチから住戸まで段差が無く、ベビーカーをスムーズに操作できるようになっている	住戸の玄関までスロープなどが設置されている。	バリアフリー

※1 以上の基準のうち、7割以上（23項目）の基準をクリアしていれば、掛川市子育て世代向け住宅（一戸建て住宅）として認定する

※2 以上の基準のうち、○印は必須項目とする

※参考文献：元気な子どもが育つ家（ミキハウス子育て総研 藤田 洋 著） 参考：子育てにやさしい住まいと環境認定基準